

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和7年2月26日(2025.2.26)

【国際公開番号】WO2024/195412

【出願番号】特願2024-559479(P2024-559479)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/333(2006.01)

B 4 1 M 5/42(2006.01)

B 4 1 M 5/44(2006.01)

B 4 1 M 5/40(2006.01)

10

【F I】

B 4 1 M 5/333 2 2 0

B 4 1 M 5/42 2 2 1

B 4 1 M 5/44 2 2 0

B 4 1 M 5/40 2 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和6年10月7日(2024.10.7)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

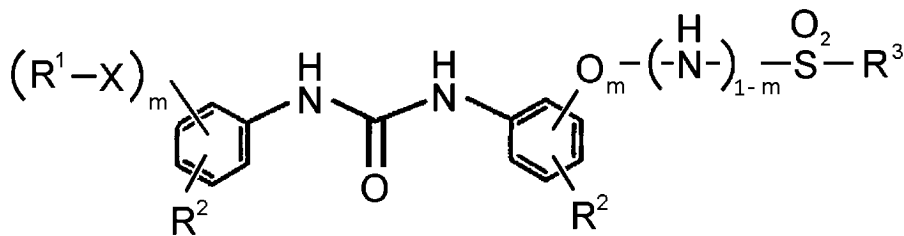
【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持体上に、無色ないし淡色の電子供与性ロイコ染料及び電子受容性顕色剤を含有する感熱記録層と、感熱記録層上に保護層を設けた感熱記録体であって、該感熱記録層が下記一般式(化1)で表されるウレア化合物を少なくとも1種含有し、該保護層が2.5～11.5重量部(固形分)のリン酸エステル化合物を含有する、感熱記録体。

30

【化1】



(式中、Xは-O-又は-NH-を表し、R¹は、水素原子または-SO₂-R³を表し、R³は、置換若しくは無置換のアルキル基、アラルキル基又はアリール基を表し、R²は、水素原子又はアルキル基を表し、mは0又は1を表す。)

40

【請求項2】

前記感熱記録層中のウレア化合物の含有量(固形分)が1.0～70.0重量%である、請求項1に記載の感熱記録体。

【請求項3】

前記保護層が更にバインダーとして、酸化度95mol以上のカルボキシ変性ポリビニルアルコールを含有する、請求項1に記載の感熱記録体。

【請求項4】

更に、前記支持体の感熱記録層とは反対側にバックコート層を設けた、請求項1に記載の

50

感熱記録体。

【請求項 5】

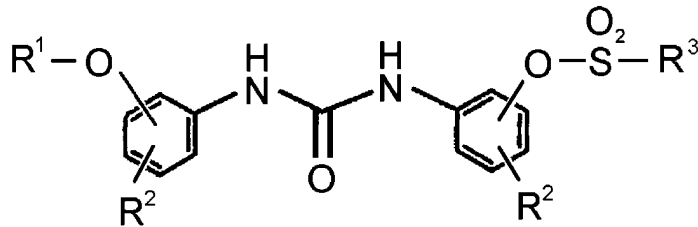
前記バックコート層がエチレン - ビニルアルコール共重合体及びエチレン - アクリル共重合体を含有する、請求項 4 に記載の感熱記録体。

【請求項 6】

前記ウレア化合物が、下記 (1) 又は (2) である、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の感熱記録体。

(1) 下記一般式 (化 2) で表される第 1 のウレア化合物

【化 2】

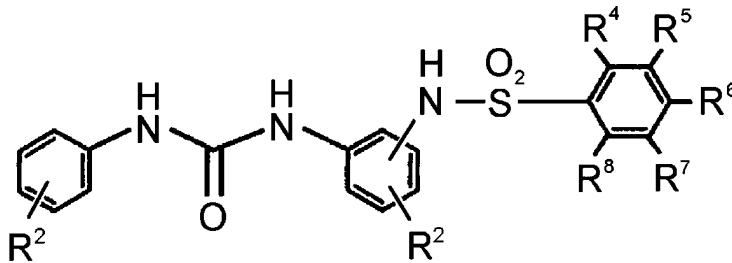


10

(式中、 R^1 、 R^2 、及び R^3 は、上記と同様に定義される。)

(2) 下記一般式 (化 3) で表される第 2 のウレア化合物

【化 3】



20

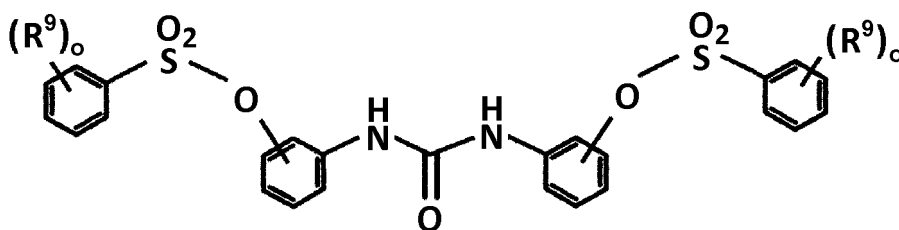
(式中、 R^2 は、上記と同様に定義され、 $R^4 \sim R^8$ は、それぞれ同じであっても異なってもよく、水素原子、ハロゲン原子、ニトロ基、アミノ基、アルキル基、アルコキシ基、アリールオキシ基、アルキルカルボニルオキシ基、アリールカルボニルオキシ基、アルキルカルボニルアミノ基、アリールカルボニルアミノ基、アルキルスルホニルアミノ基、アリールスルホニルアミノ基、モノアルキルアミノ基、ジアルキルアミノ基、又はアリールアミノ基を表す。)

30

【請求項 7】

前記第 1 のウレア化合物が下記一般式 (化 6) で表される、請求項 6 に記載の感熱記録体。

【化 6】



40

(式中、 R^9 は、それぞれ同じであっても異なってもよく、アルキル基又はアルコキシ基を表し、 o は 0 ~ 3 の整数を表す。)

【請求項 8】

前記第 2 のウレア化合物が、N - [2 - (3 - フェニルウレイド) フェニル] ベンゼンス

50

